

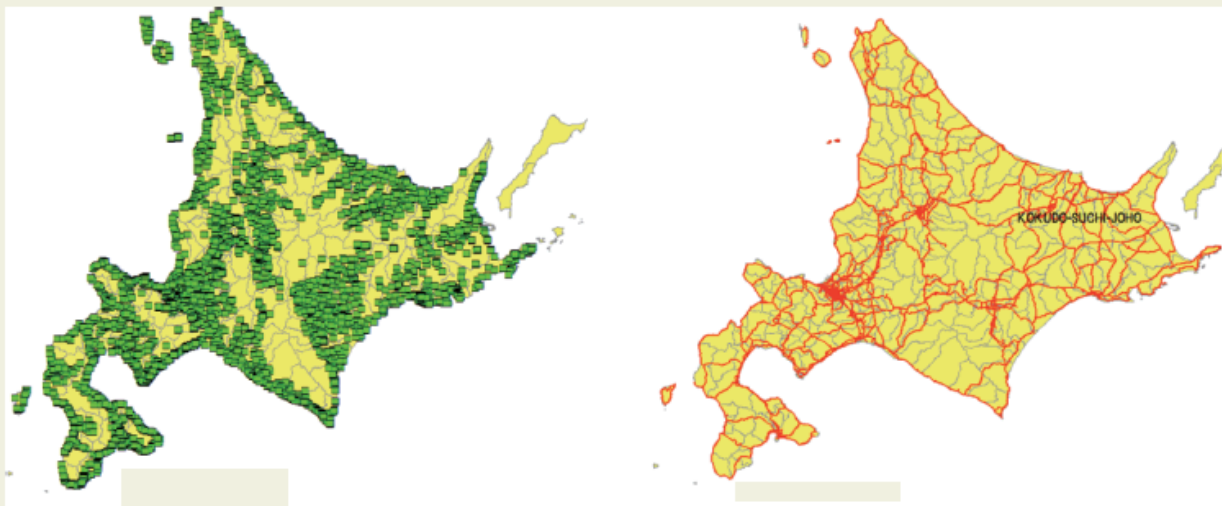


地形・地質から北海道の自然災害を考える

—北海道で起きている自然災害の状況と、自然災害の犠牲にならないための基礎知識を学ぶ—

9月15日：シリーズその5 防災情報とはどんなもの？

災害への備えとして数多くの防災情報があります。しかし、その防災情報がどこにあるのか、どういう意味なのか、どのように使うのかを理解しないと自分の命を守れないかもしれません。本講座では、防災情報とはどんなものなのか、それはどこにあるのか、その活用方法と、災害対策に大きな力を発揮する地理情報システム = GIS (我が家の防災マップ等) について討論します。



講師：山岸宏光

1966年 北海道大学理学部卒業。北海道立地下資源調査所 (現：北海道立総合研究機構地質研究所)、新潟大学、愛媛大学において地すべり災害、火山災害、地震災害、GIS (地理情報システム) 等の研究に従事。この分野の国際的エキスパート、元日本地すべり学会会長。GIS 上級技術者、理学博士。

日時：2018年9月15日 (土) 13:30 - 15:30

場所：かでの2.7 (札幌市中央区北2条西7丁目) 5階 550室

参加費：1,300円

参加定員：40名

申込期限：2018年9月5日 (水) まで (参加定員まで余裕があれば前日まで受け付けます)

主催 特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター (<http://www.hrcg.jp>)
後援 一般社団法人 北海道地質調査業協会 (<http://www.do-geo.com/>)
札幌市・札幌市教育委員会 (<http://www.city.sapporo.jp/org/kyoiku/index.html>)

参加申込・問合せ先

E-Mail: office@hrcg.jp Tel: 080-3296-8848 (担当: 前田)

道民カレッジ単位認定
及び北海道地質調査業協会

CPD 証明書発行